

## 7. 化学的酸素要求量（COD）の状況

令和4年の河川のCODの状況は、図7-1のとおりです。平成21年から令和4年までの14年間の河川等のCODの状況は図7-2に示すとおりです。CODの値は、例年、都市郊外の河川上流域で低く、市街地の発達した河川下流域で高い傾向にあります。各河川の詳細は、次項「8. 東京湾に流入する主な河川の状況」を参照してください。

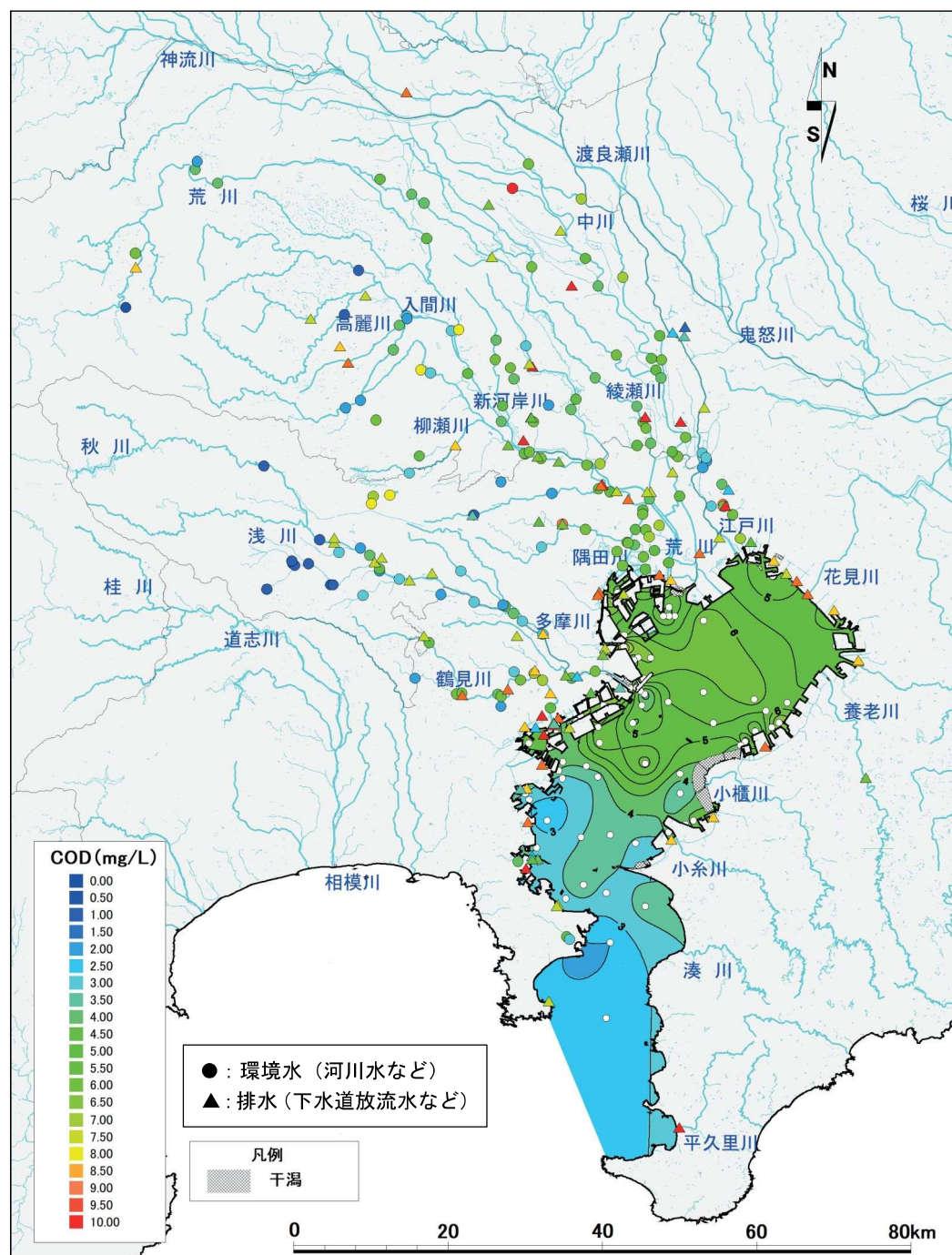
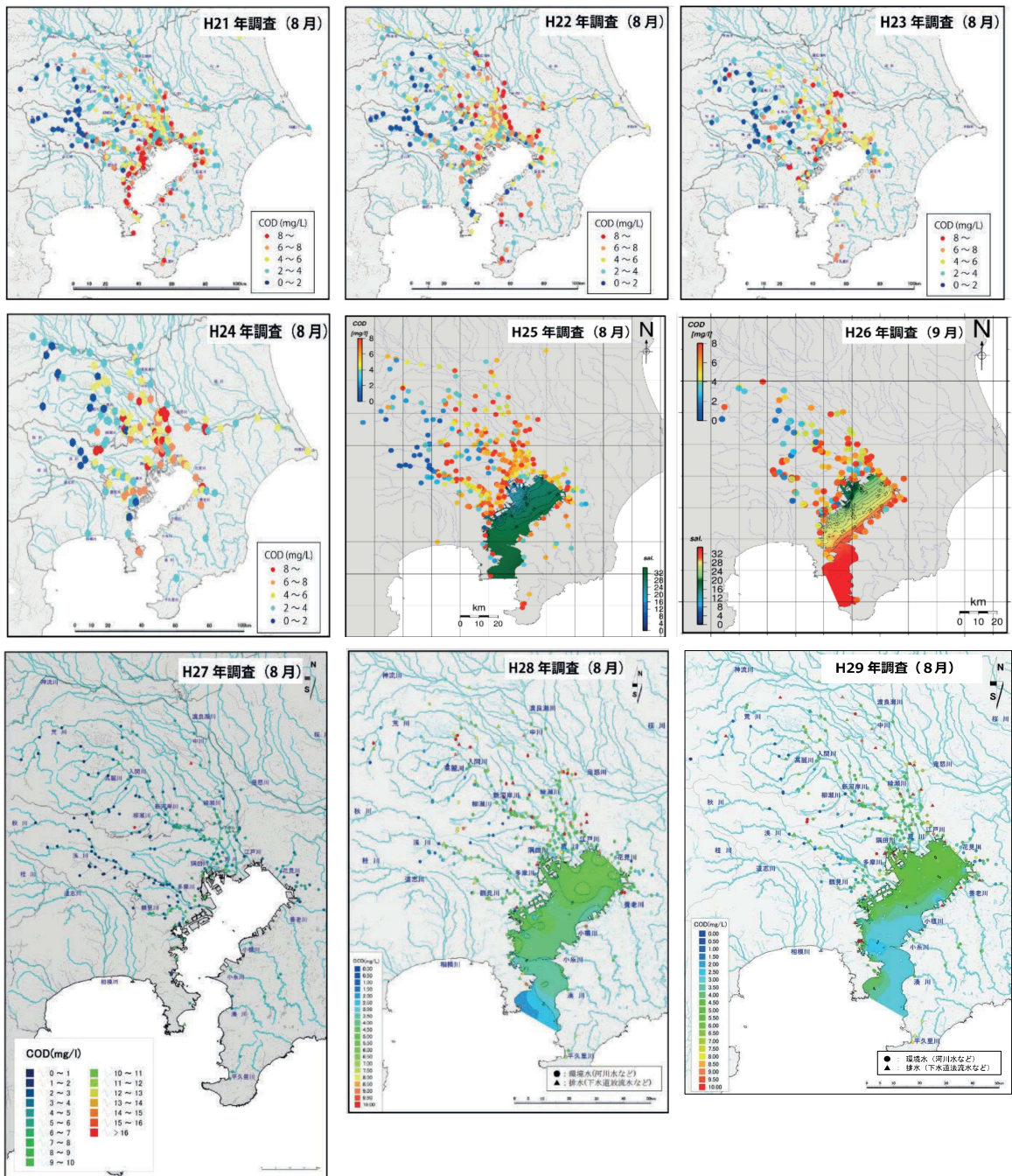
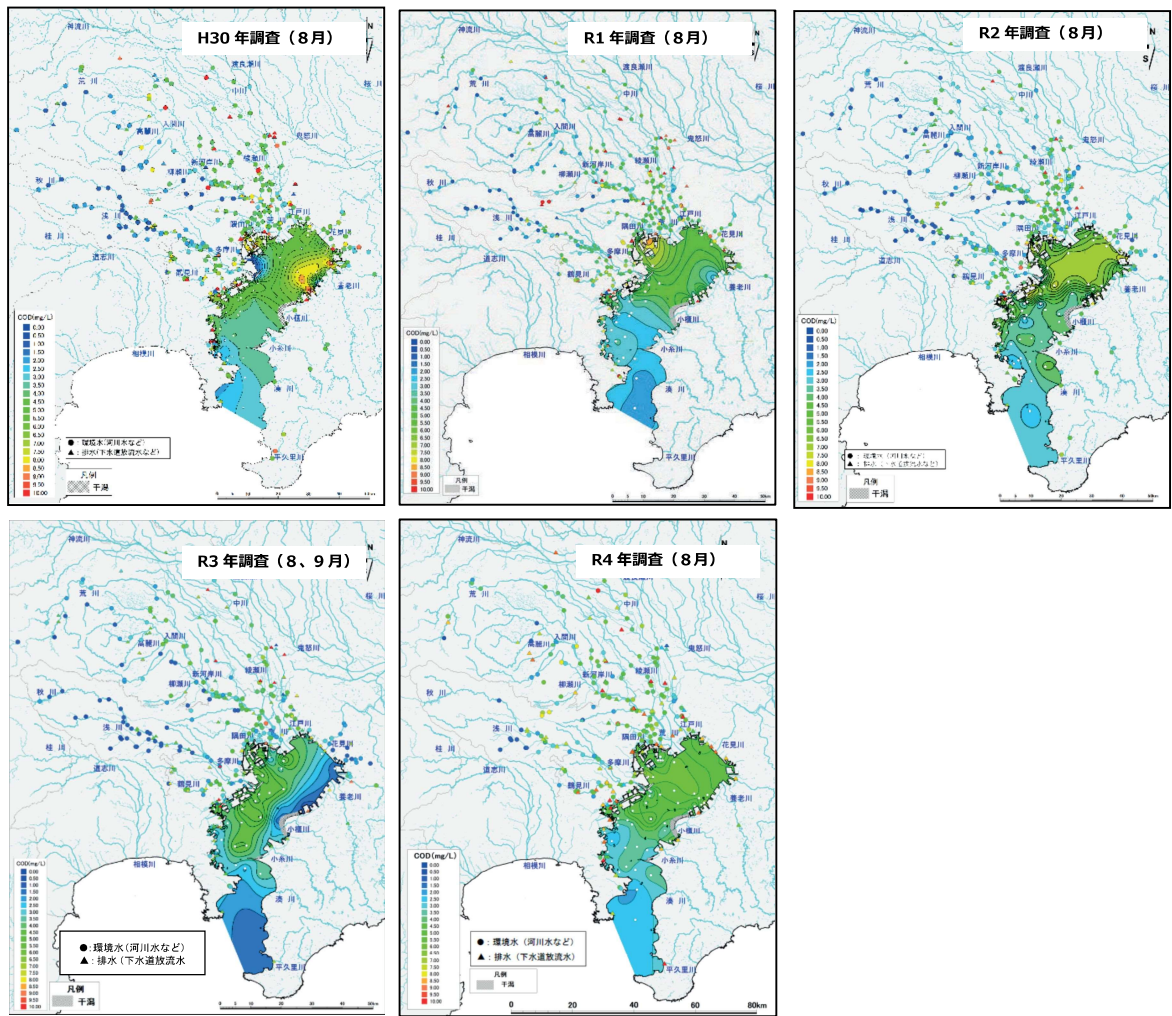


図 7-1 令和4年8月のCODの状況



調査基準日前後の調査結果を含む。(次頁へ続く。)

図 7-2 平成 21 年～平成 29 年（平成 26 年は 9 月  
 その他は 8 月）の COD 観測結果の比較



調査基準日前後の調査結果を含む。

図 7-2 平成 30 年～令和 4 年（令和 3 年は 8 月及び 9 月  
 その他は 8 月）の COD 観測結果の比較



(1) 多摩川水系

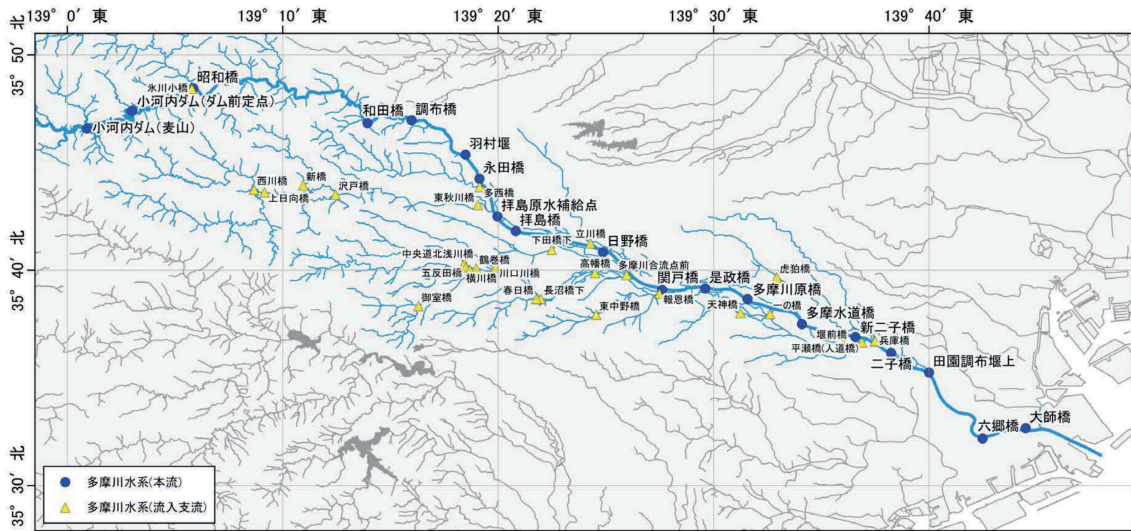
多摩川水系において、水温は、本流支流ともに、ばらつきがありましたが、概ね上流から下流に向かって上昇する傾向が見られました。

流量は、本流では、ばらつきがありましたが、概ね上流から下流に向かって増加する傾向が見られました。支流では、0.1～4.0 m<sup>3</sup>/s で推移していました。

COD は、本流支流ともに、ばらつきがありましたが、概ね上流から下流に向かって増加する傾向が見られました。

DO は、本流支流ともに、7.3～15.4 mg/L の範囲でばらつきが見られました。

透視度は、本流の大師橋を除き、本流支流ともに 80～測定最大限界の 100 cm の範囲に含まれました。



背景地図：「国土地理院発行の「数値地図（国土基本情報）」をもとに(株)ケンズシステムが加工」、  
「国土交通省国土政策局「国土数値情報（河川データ）」をもとに(株)ケンズシステムが編集・加工」

図 8-2 多摩川水系流域における調査点図

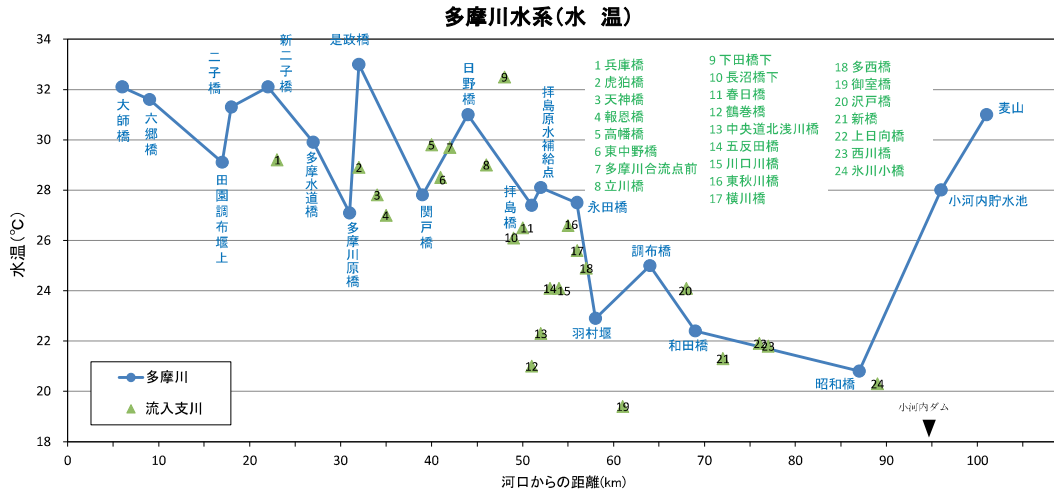


図 8-3 多摩川水系における水温（8月）と河口からの距離の関係

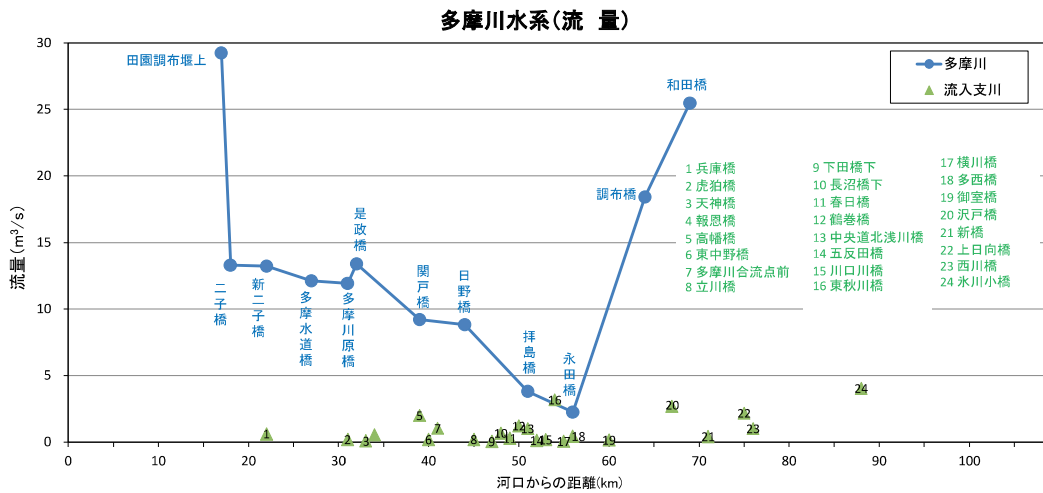


図 8-4 多摩川水系における流量（8月）と河口からの距離の関係

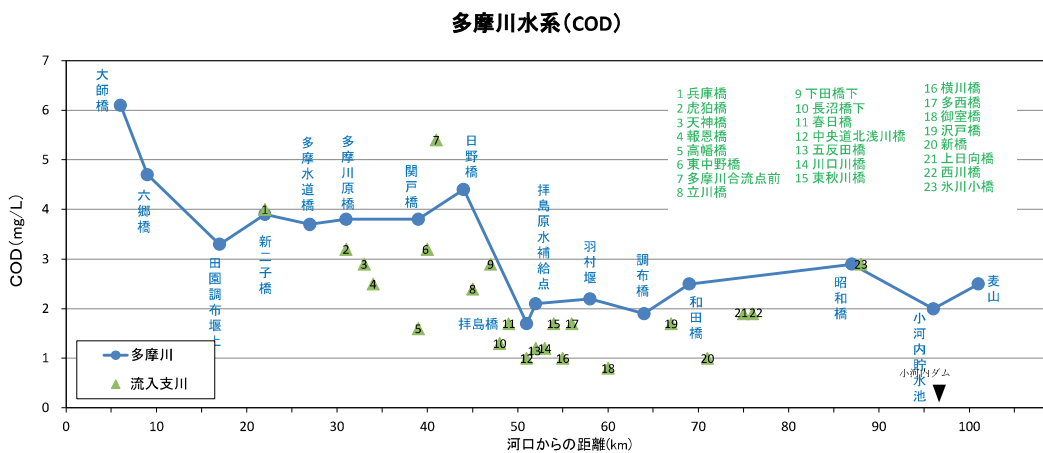


図 8-5 多摩川水系における COD（8月）と河口からの距離の関係

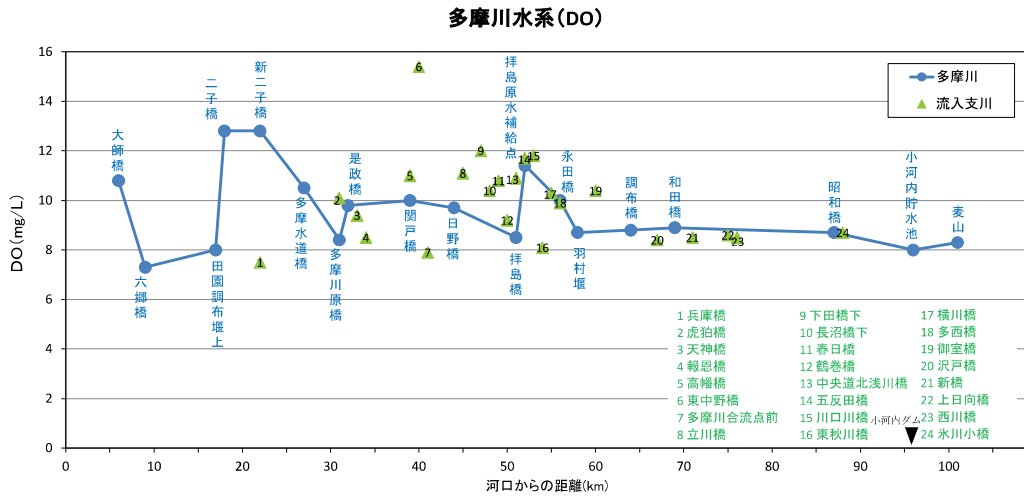


図 8-6 多摩川水系における DO (8月) と河口からの距離の関係

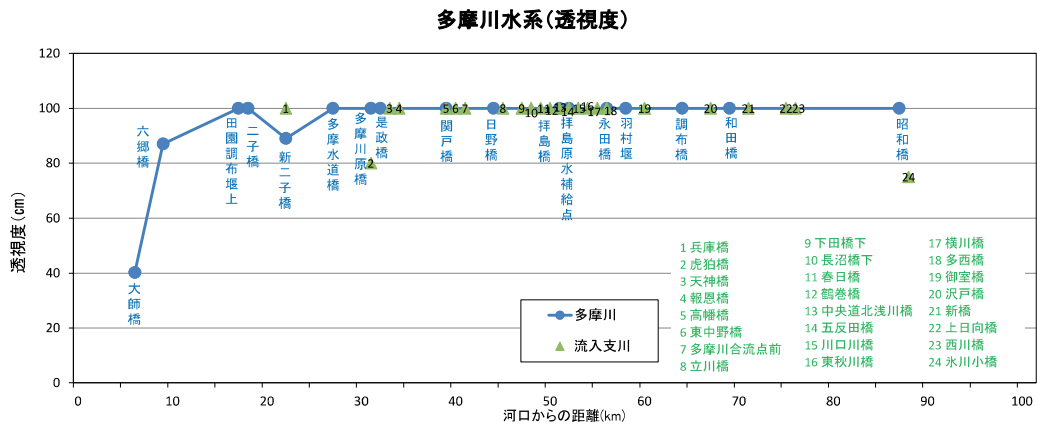


図 8-7 多摩川水系における透視度 (8月) と河口からの距離の関係

## (2) 荒川水系

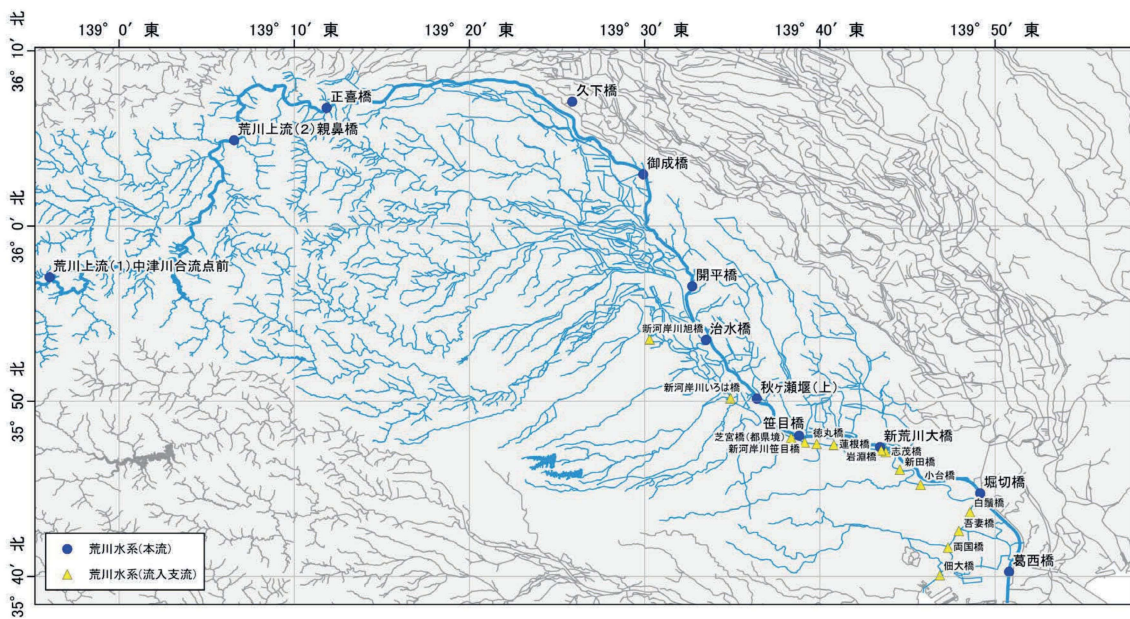
荒川水系において、水温は、本流支流ともに、ばらつきがありましたが、概ね上流から下流に向かって上昇する傾向が見られました。

流量は、本流支流ともに、上流から下流に向かって増加する傾向が見られました。

CODは、本流支流ともに、ばらつきがありましたが、概ね上流から下流に向かって増加する傾向が見られました。

DOは、本流支流ともに、概ね上流から下流に向かって減少する傾向が見られました。

透視度は、本流支流ともに、ばらつきがありましたが、概ね上流から下流に向かって低下する傾向が見られ、測定最大限界の 100 cm を記録したのは中津川合流点前、親鼻橋、芝宮橋、志茂橋でした。



背景地図：「国土地理院発行の「数値地図（国土基本情報）」をもとに(株)ケンズシステムが加工、  
「国土交通省国土政策局「国土数値情報（河川データ）」をもとに(株)ケンズシステムが編集・加工」

図 8-8 荒川水系流域における調査点図



荒川水系(水 温)

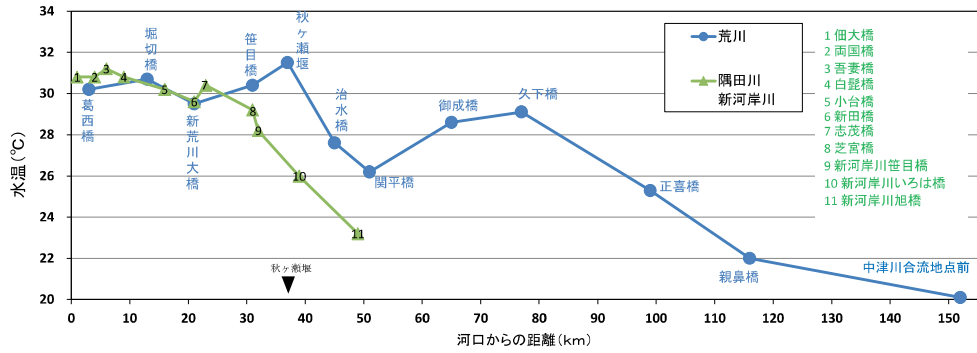


図 8-9 荒川水系における水温（8月）と河口からの距離の関係

荒川水系(流 量)

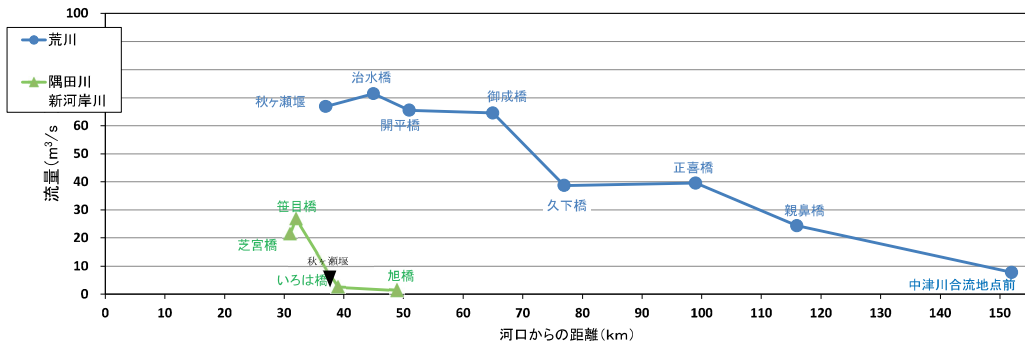


図 8-10 荒川水系における流量（8月）と河口からの距離の関係

荒川水系(COD)

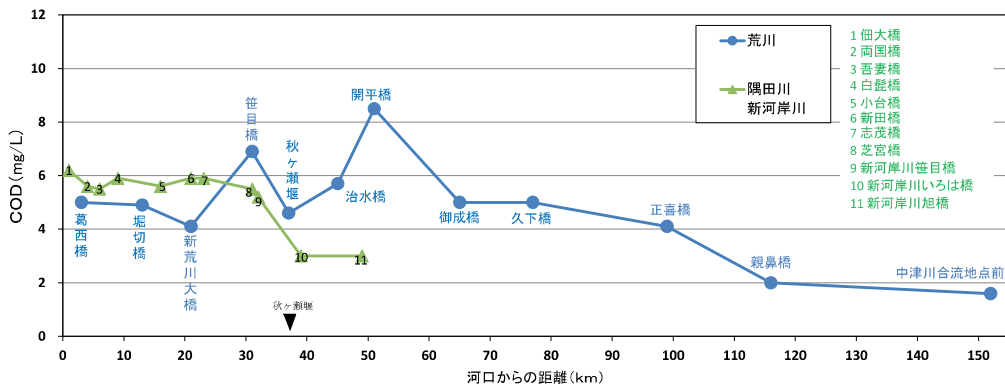


図 8-11 荒川水系における COD（8月）と河口からの距離の関係

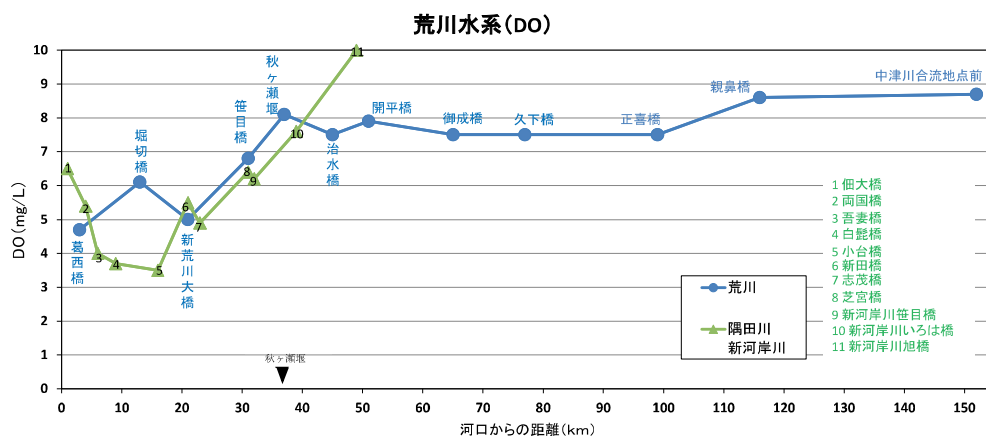


図 8-12 荒川水系における DO（8月）と河口からの距離の関係

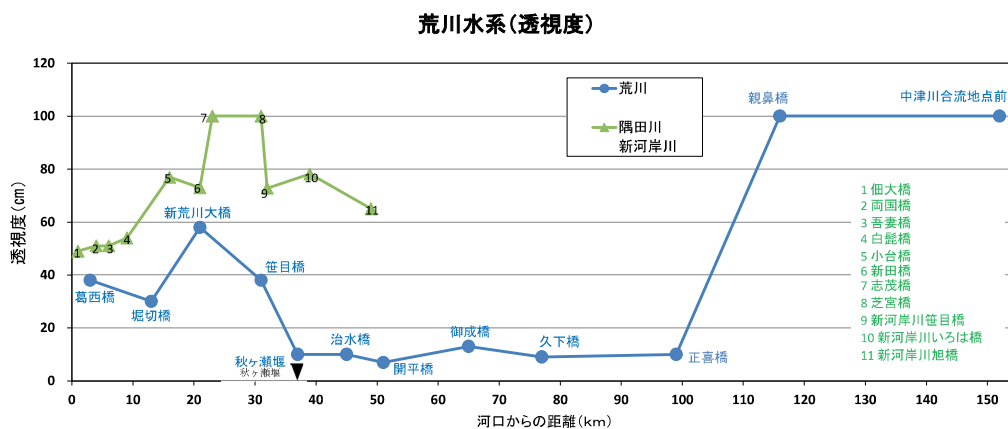


図 8-13 荒川水系における透視度（8月）と河口からの距離の関係

(3) 利根川水系①（中川、江戸川、綾瀬川）

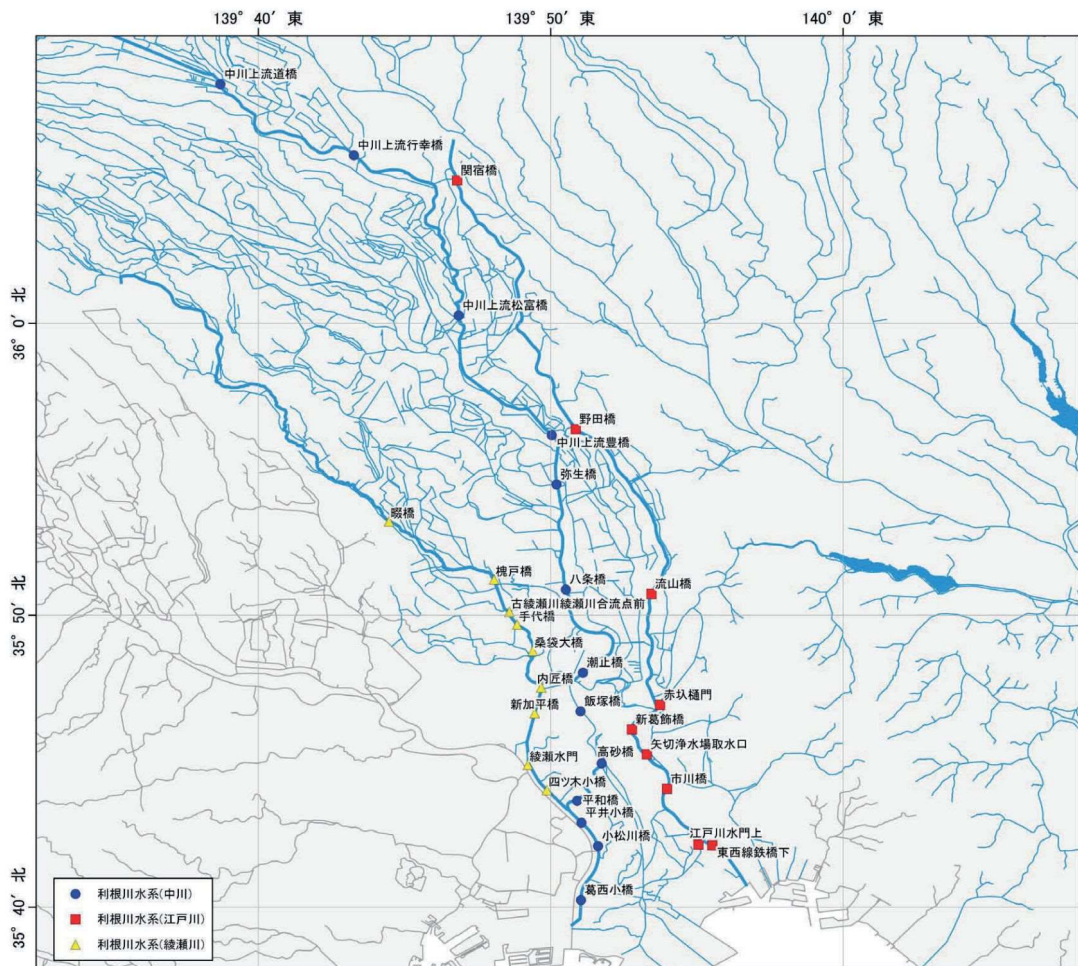
水温は、中川では、ばらつきがありましたが、概ね上流から下流に向かって上昇する傾向が見られました。江戸川では、上流から下流に向かって緩やかに上昇した後に、一旦低下しますが、そこから再び上昇していました。綾瀬川では、30～32℃の範囲でばらつきが見られました。

流量は、中川と綾瀬川では、概ね上流から下流に向かって増加する傾向が見られました。江戸川では、およそ60m<sup>3</sup>/Sとほぼ一定でした。

CODは、中川では、上流から下流に向かって緩やかに減少する特異な傾向が見られました。江戸川では、上流から下流に向かって、一旦やや減少した後に増加する傾向が見られました。綾瀬川では、4.5～6.6 mg/Lの範囲でばらつきが見られました。

DOは、中川、江戸川、綾瀬川ともに、ばらつきがありましたが、概ね上流から下流に向かって減少する傾向が見られました。

透視度は、中川は上流から下流に向かって上昇する傾向が見られましたが、江戸川、綾瀬川では、顕著な傾向は見られませんでした。



背景地図：「国土地理院発行の「数値地図（国土基本情報）」をもとに(株)ケンズシステムが加工」、  
「国土交通省国土政策局「国土数値情報（河川データ）」をもとに(株)ケンズシステムが編集・加工」

図 8-14 利根川水系流域①（中川、江戸川、綾瀬川）における調査点図

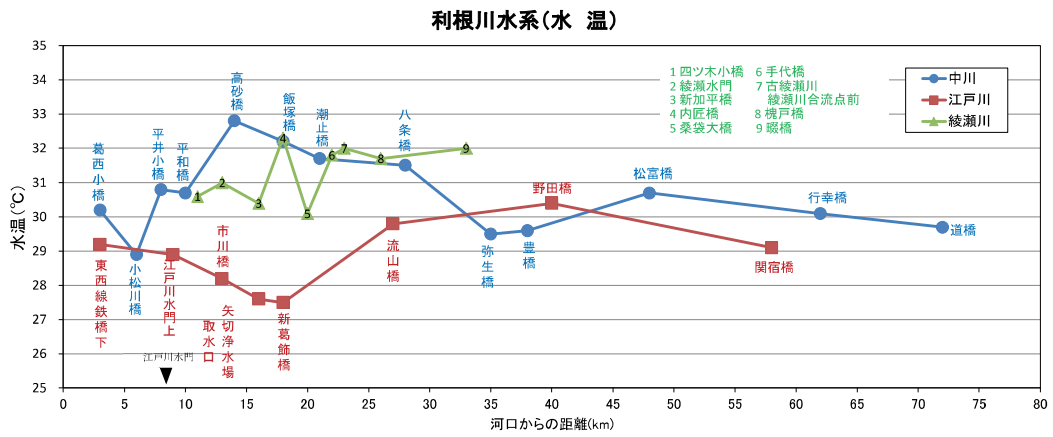


図 8-15 利根川水系① (中川、江戸川、綾瀬川) における水温 (8月) と河口からの距離の関係

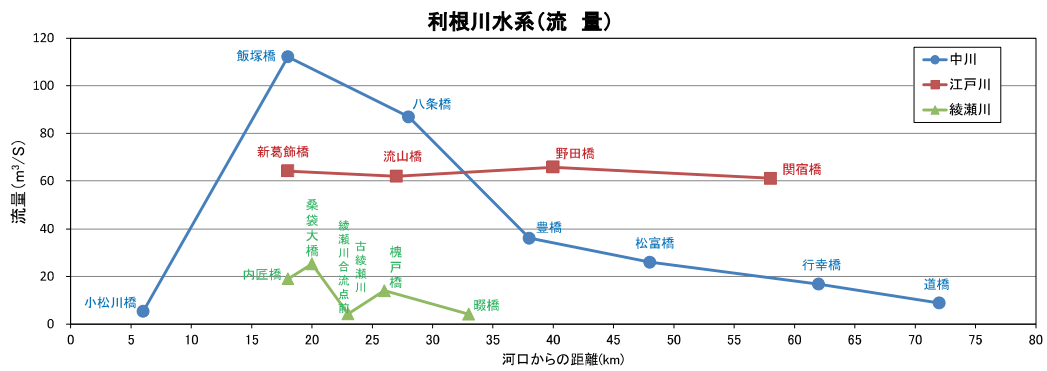


図 8-16 利根川水系① (中川、江戸川、綾瀬川) における流量 (8月) と河口からの距離の関係

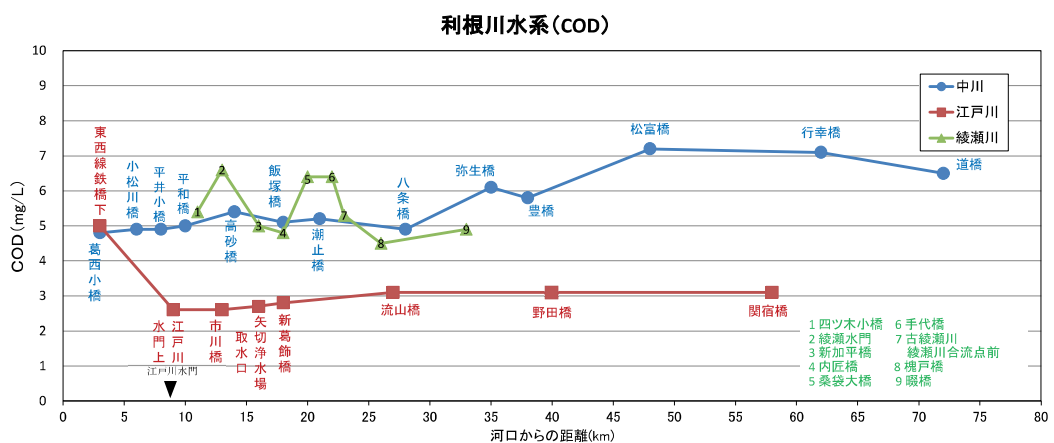


図 8-17 利根川水系① (中川、江戸川、綾瀬川) における COD (8月) と河口からの距離の関係

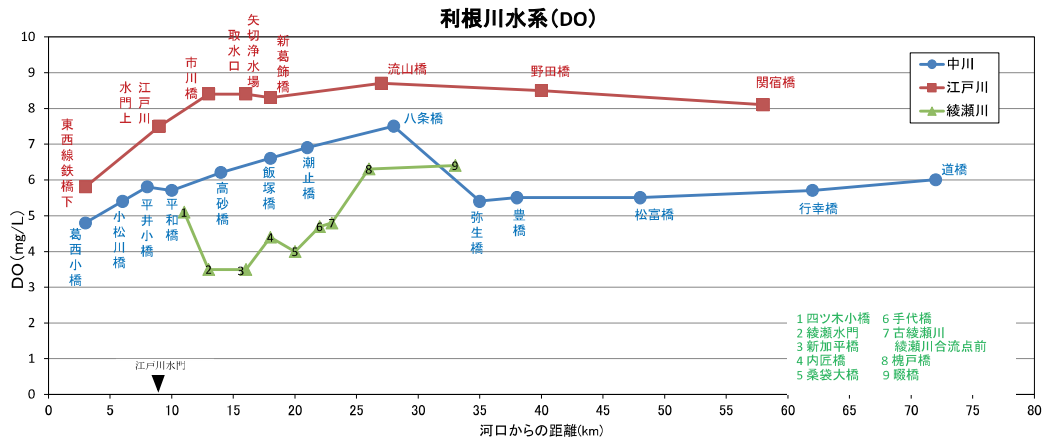


図 8-18 利根川水系①（中川、江戸川、綾瀬川）における DO（8月）と河口からの距離の関係

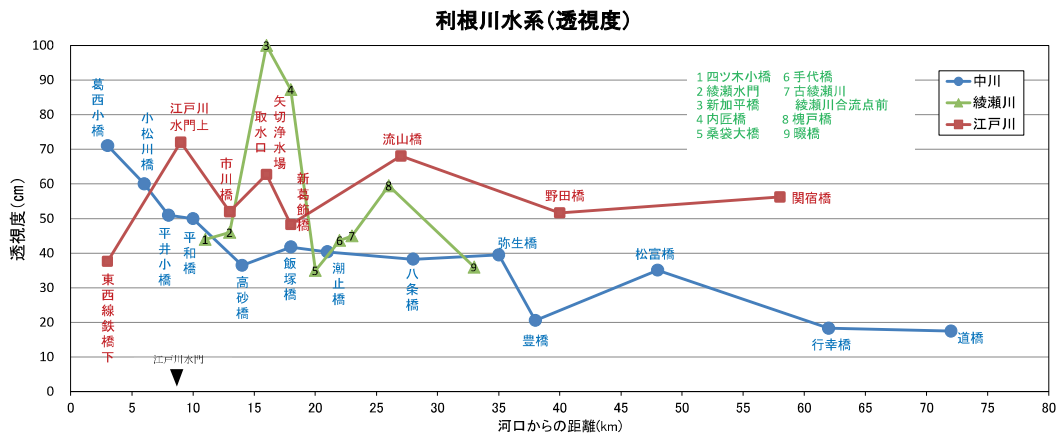


図 8-19 利根川水系①（中川、江戸川、綾瀬川）における透視度（8月）と河口からの距離の関係

#### (4) 利根川水系②（花見川）

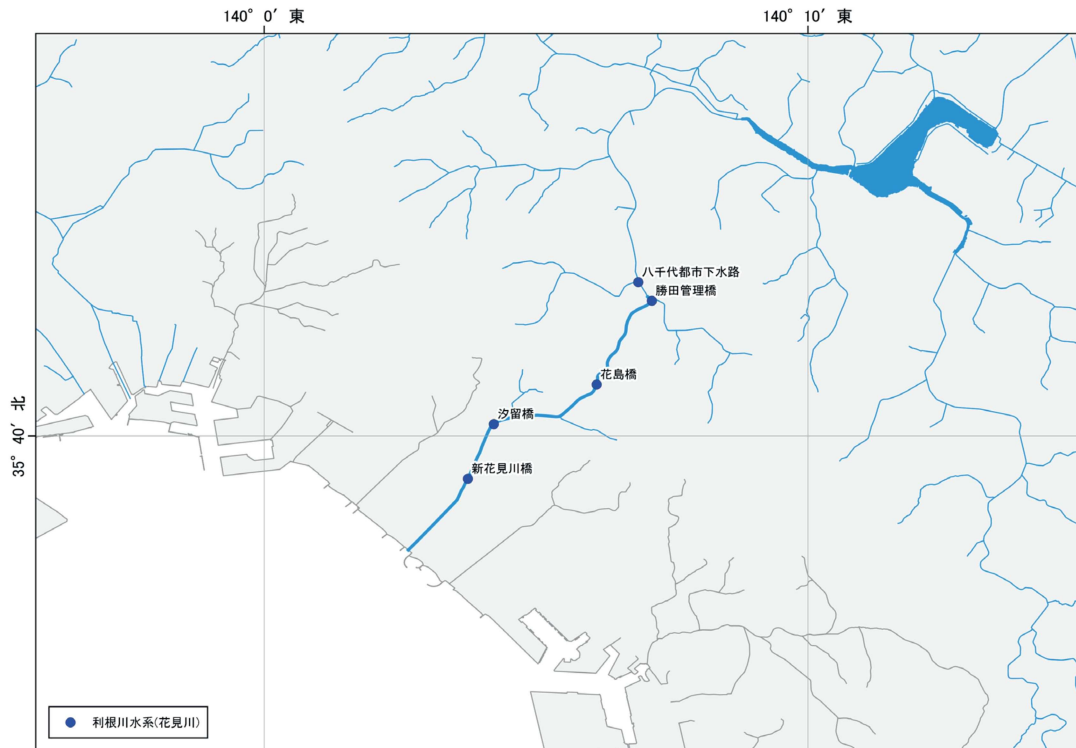
花見川では、水温は、概ね上流から下流に向かって上昇する傾向が見られました。

流量は、新花見川橋のみで観測され、 $5.4 \text{ m}^3/\text{s}$  でした。

COD は、上流から下流に向かって上昇する傾向が見られました。

DO は、概ね上流から下流に向かって減少する傾向が見られました。

透視度については、前年と同じく全観測点にて測定最大限界の  $30 \text{ cm}$  が観測されました。



背景地図：「国土地理院発行の「数値地図（国土基本情報）」をもとに(株)ケンズシステムが加工」、  
「国土交通省国土政策局「国土数値情報（河川データ）」をもとに(株)ケンズシステムが編集・加工」

図 8-20 利根川水系（花見川）流域における調査点図

利根川水系(花見川:水 温)

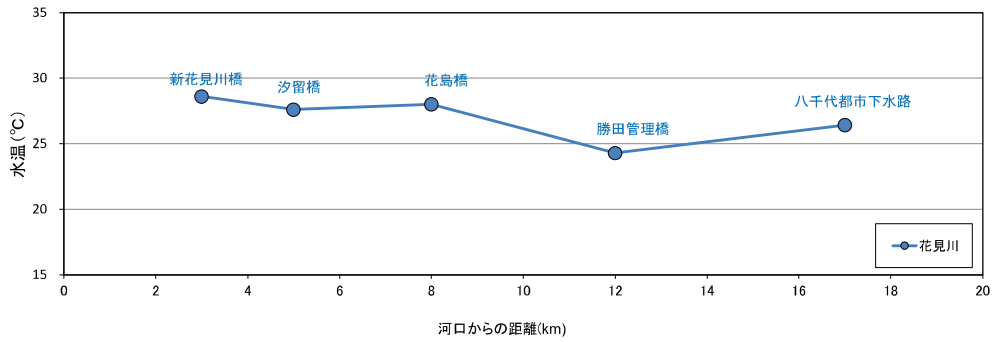


図 8-21 利根川水系（花見川）における水温（8月）と河口からの距離の関係

利根川水系(花見川:流 量)

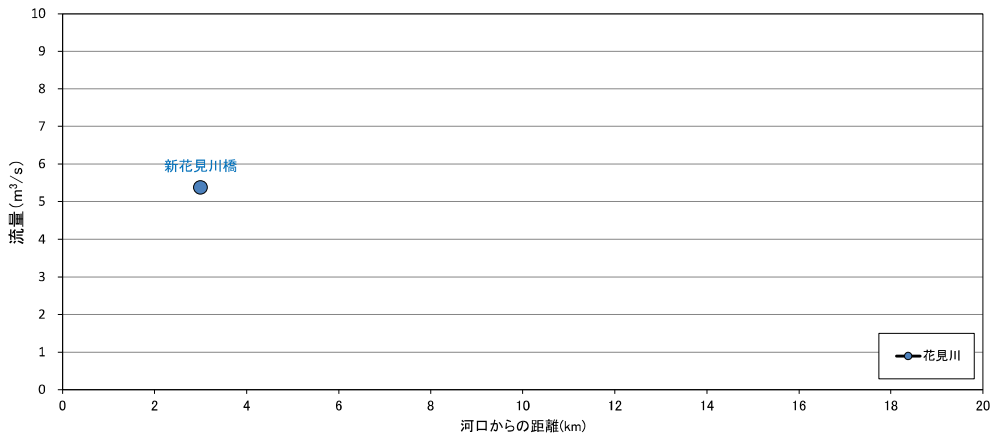


図 8-22 利根川水系（花見川）における流量（8月）と河口からの距離の関係

利根川水系(花見川:COD)

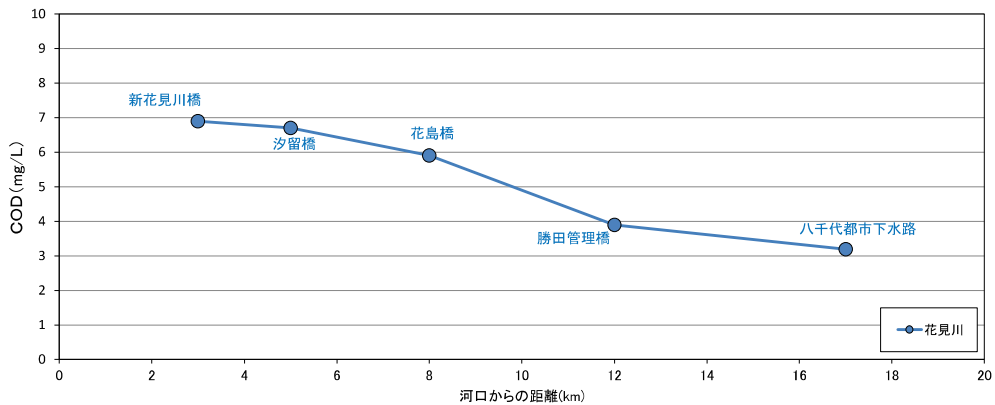


図 8-23 利根川水系（花見川）における COD（8月）と河口からの距離の関係

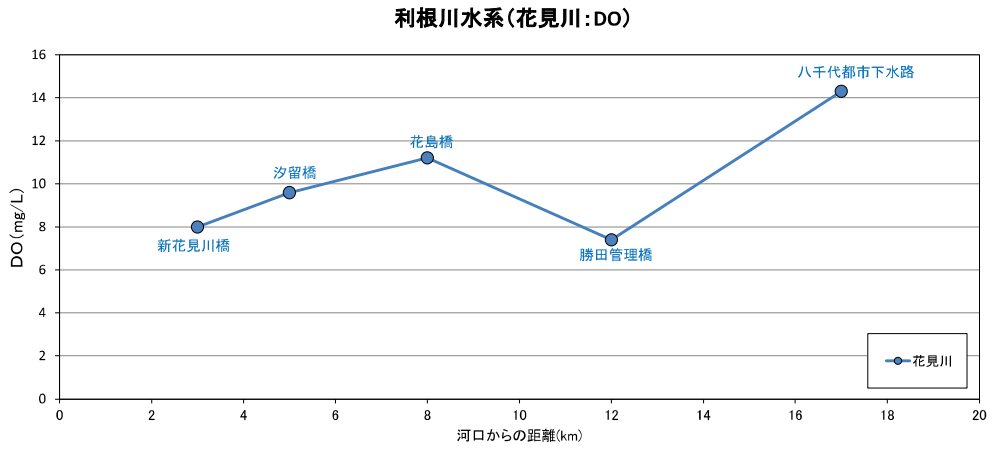


図 8-24 利根川水系（花見川）における DO（8月）と河口からの距離の関係

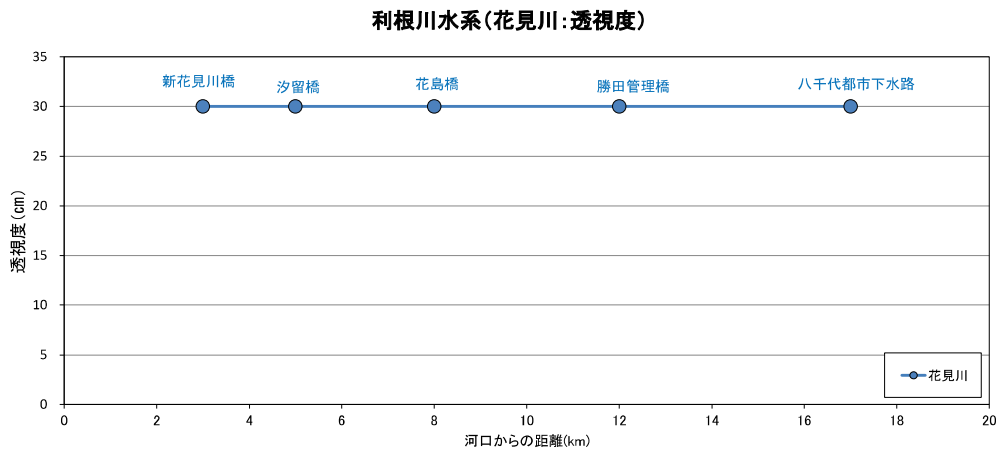


図 8-25 利根川水系（花見川）における透視度（8月）と河口からの距離の関係



### (5) 鶴見川水系

鶴見川水系において、水温は、本流支流ともに、ばらつきがありましたが、概ね上流から下流に向かって上昇する傾向が見られました。

流量は、本流支流ともに、上流から下流へ向かって増加する傾向が見られました。

CODは、本流支流ともに、ばらつきがありましたが、概ね上流から下流に向かって増加する傾向が見られました。

DOは、本流支流ともに、ばらつきがありましたが、概ね上流から下流にかけて減少する傾向が見られました。

透視度は、本流支流ともに、本流の臨港鶴見川橋、末吉橋以外の地点では、測定最大限界の 100 cm を観測しました。



図 8-26 鶴見川水系流域における調査点図

鶴見川水系(水 温)

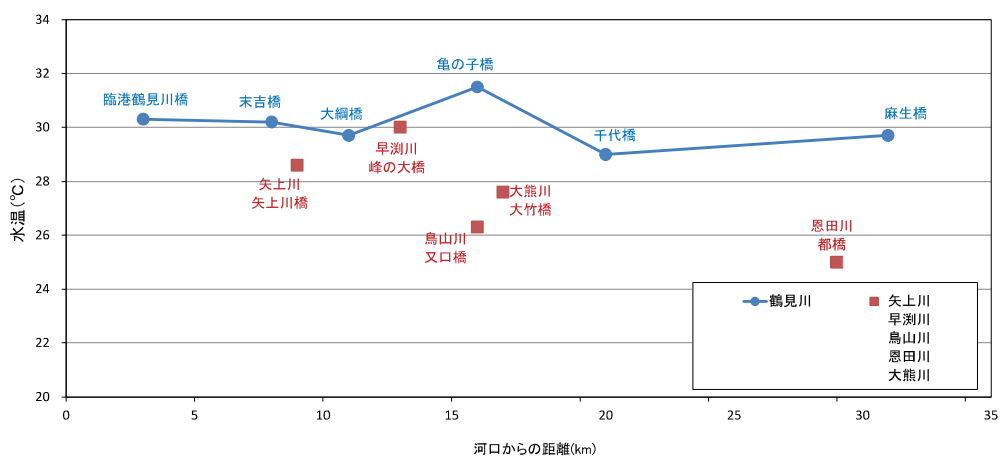


図 8-27 鶴見川水系における水温（8月）と河口からの距離の関係

鶴見川水系(流 量)

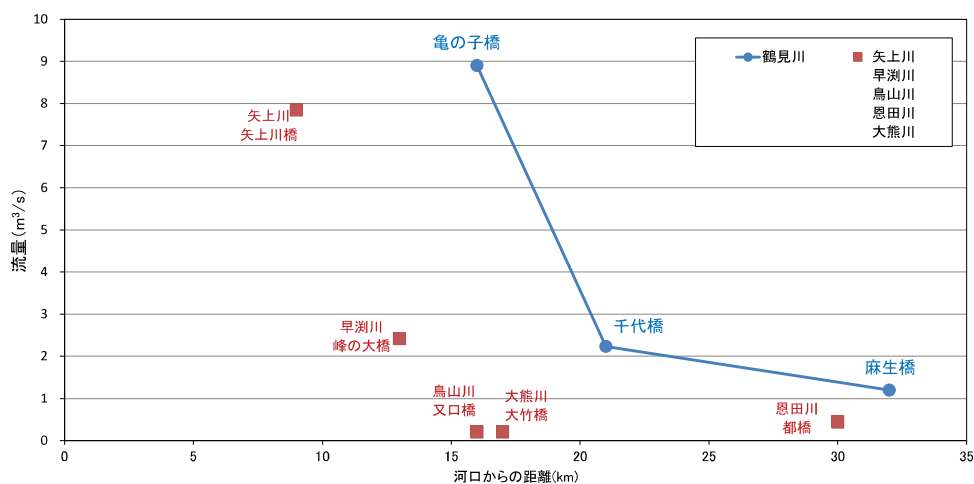


図 8-28 鶴見川水系における流量（8月）と河口からの距離の関係

鶴見川水系(COD)

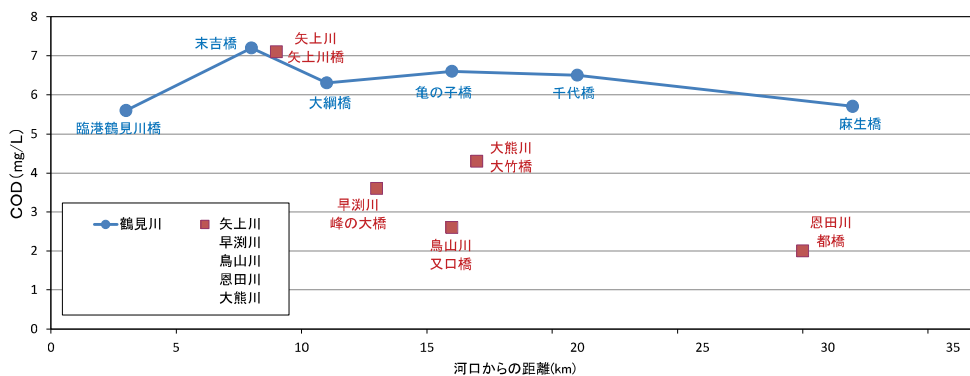


図 8-29 鶴見川水系における COD（8月）と河口からの距離の関係

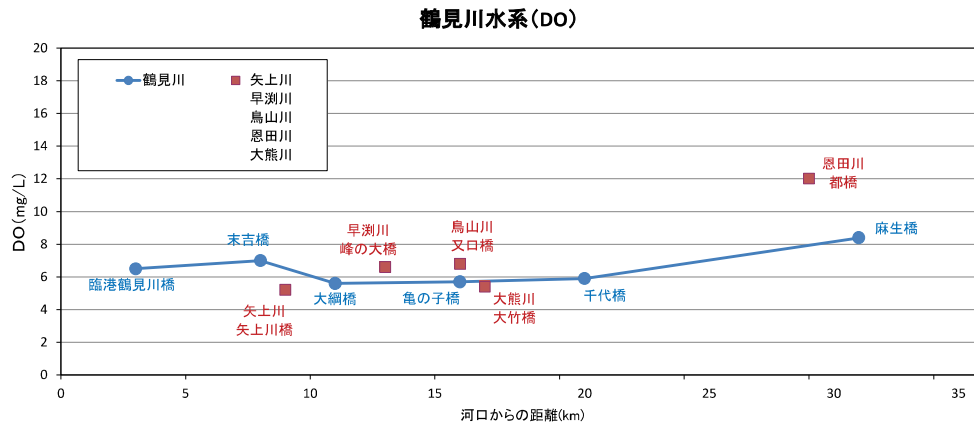


図 8-30 鶴見川水系における DO (8月) と河口からの距離の関係

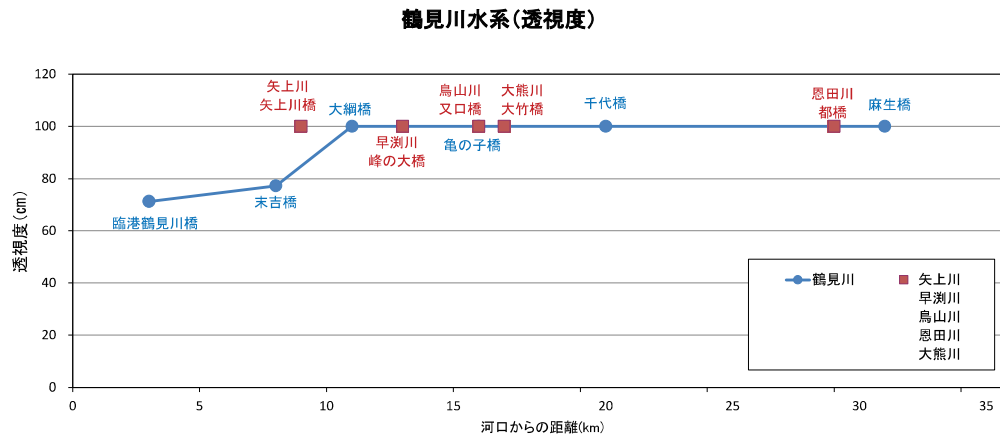


図 8-31 鶴見川水系における透視度 (8月) と河口からの距離の関係